

「夏休み」を終えて
その2



「志望理由の夏」の次は「職業人としての春」 (公務員バージョン)

警察官でも消防士でも行政職員でも、そして教師でも

君が警察学校を卒業し4年が経った。**実務の現実**に戸惑い迷っている君。地を這う**現場の苦労**に喘いでいる君。下積みの中で**自分を認めて欲しい**と焦がれている君。

君に問う。警察官を選んだ理由は何か？あの頃の**理想**を思いだせるか。数ある職業の中から君は警察官を選んだ。安定を求めてか？やりがいを求めてか？この道は**奉仕と犠牲**の道である。**社会貢献**にこそやりがいがある。それを忘れたなら職を転ずるがよい。

警察官は悪と戦う。その為には団結しなければならない。**己に規律**を課さなければならない。君の魂の底に「**原則**」はあるか。命を託せる仲間はどこか。

警察官は命令を待てない。突然の危機の中で、君は独りで**判断**しなければならない。目の前のその人を救わなければならない。だから問う。**孤独な決断をする覚悟**はあるか。

覚悟があるなら努力しなければならない。職にある限り**学び続け**なければならない。君の仕事はどんな仕事か。29万人の連帯中で、君の努力が国を守っている。君の努力が人々を守っている。**誇り**はあるか。被害者の悲しみと向き合う**熱い心**はあるか。

思いがあるなら行動しなければならない。**困難に挑み**乗り越えなければならない。逃げずに**リスク**をとらなければならない。失敗したらまた挑まなければならない。

君に問う。**愛する人**はいるか。いるならとことん愛さなければならない。いつか難局が訪れた時、君が命がけて戦う時、その人への愛が君を支えるから。

最後に君に問う。人間の本当の価値を決めるのは、その人の能力ではなく、岐路でなす**選択**である。自由意志が人間に**尊厳と責任**を与える。あの時選んだ道をまっすぐに歩いて行け。

(北海道警察【治安フォーラム 21・3】巻頭言)

「**覚悟や決心**」が人を強くする。「覚悟」を持つ方法とは？

- ☒ **A 主体性**を持って能力や実力を高める＝**努力**を重ね、経験・結果を“いいもの”にする
- ☒ **B 他のために**という考えを持ち行動する＝自分以外の存在や環境、伝統から**心の支え**をもらう

これを繰り返すからこそ...

☒ **「自分の努力」と「他者への思い」が“本物”になる⇒『使命感』が必ず生まれる**

(※職に就くことは“**公共の担い手**”になること＝全ての仕事“正しく機能”し初めて社会(公)は維持される)